



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 長瀬 栄二郎

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1372 回	53 名	53 名	34 名	---	64.15%
前々回 1370 回	53 名	53 名	45 名	1 名	86.79%

<高山 3 ロータリークラブ合同 ガバナー公式訪問>

日 時：2024 年 9 月 26 日（木）

例会場：ひだホテルプラザ 3 階 「吉祥の間」

ホストクラブ：高山ロータリークラブ

●点鐘

高山ロータリークラブ

会長 長岡 俊輔 様

●ロータリーソング 奉仕の理想

●ゲストおよび地区役員/委員の紹介

国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 亀井 喜久雄 様

国際ロータリー第 2630 地区

パストガバナー 劔田 廣喜 様

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 岡田 賛三 様

国際ロータリー第 2630 地区

代表幹事 的場 敏訓 様

国際ロータリー第 2630 地区

幹事 浅津 英明 様

国際ロータリー第 2630 地区国際奉仕委員会

委員 清水 幸平 様

国際ロータリー第 2630 地区米山記念奨学委員会

委員 熊崎 元康 様

国際ロータリー第 2630 地区社会奉仕委員会

委員 中屋 出 様

国際ロータリー第 2630 地区 DEI 小委員会

委員 西 美紀 様

国際ロータリー第 2630 地区研修・学習委員会

委員 北川 由幸 様

●会長の時間 会長 長岡 俊輔 様

本日の高山 3 クラブ合同例会のホストを務めます「高山ロータリークラブ」第 70 代会長の長岡です。3 人の会長の中で最年少であり大変恐縮ですが、本日の会長の時間を担当させていただきます。僕は 2013 年 1 月にロータリーに入会しました。特に奉仕



活動がしたいという願望があったわけでもありませんが縁があって仲間に入れてもらいました。当時の僕にとってロータリーは非常に難解で、職業奉仕とかアイサーブとかよく理解が出来ませんでした。それでも 12 年間多くの先輩と会話をし、一緒に食事をしたりお酒を飲んだりして時間を共有することでごく自然に無理なく理解が進み、ロータリーが体に馴染んできたように思います。今年、会長を務めるにあたり、少しはロータリーの勉強をしなきゃとロータリー入門書やネット上で様々な地区の資料などに目を通しました。その中で、気に入った一説があります。それは『ロータリーは親睦・友愛を苗床に職業奉仕が生まれ、それが社会奉仕に発展し、それが世界に広がって国際奉仕へと成長したと言われていました。また、それらを貫く思想を「奉仕の理想」と呼んでいます。』という一説です。なにか腑に落ちたような気がしました。

ロータリーにおける全ての奉仕活動は会員間の親睦と友愛から生まれ、会員間の親睦と友愛から生まれる「奉仕の理想」と呼ばれる思想こそがロータリーそのものだとは僕は理解しました。

高山には 3 つのクラブがあります。それぞれに独自の歴史や特徴、雰囲気があり、個性豊かに活動しています。高山クラブには高山クラブの色があり、西クラブには西クラブの香りがあり、中央クラブ

には中央クラブの味があります。

3つのクラブが同じような活動するのではなく、まるで役割分担をするかのように、個性を生かした多様性のある活動をすることによって「奉仕の理想」という思想を地域に広げていくことが出来れば、そして未来へつないでいくことが出来れば、それはとても素敵なことではないかと思っています。それは会員増強の分野においても同様で、それぞれのクラブの個性を大切に活動し続けることで、同エリア内で会員候補を取り合うようなことではなく、それぞれに合った会員を獲得していくことが出来、結果この地域トータルでの増強につながるのではないかと考えています。

今日は「地域にインパクトを」というスローガンを掲げる亀井ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会です。今日ご参加のメンバーの皆さま方は既に亀井ガバナーの地区スローガンをお読みになっていると思いますが、後ほどいただく卓話を効いてさらに理解を深めていただくことで、それぞれの「奉仕の理想」の醸成にお役立ていただければと思います。

● 歓迎の挨拶

高山西ロータリークラブ 会長

米澤 久二 様

改めまして皆さんこんにちは。

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー 亀井喜久雄様、地区代表幹事 的場敏訓様、地区幹事 浅津英明様、三重県名張から遠路はるばる飛騨高山へようこそおいでくださいました。心より歓迎申し上げます。

そして剣田パストガバナー、岡田ガバナー補佐はじめ地区役員の皆様のご臨席を賜り誠にありがとうございます。

社会が大きく変化しておりますが高山も大きな変化の波に飲み込まれています。外国人観光客が大幅に増加するとともに、地域外から資本の参入が増え、人口減に伴い人手不足に陥っています。そんな状況の中でのロータリークラブの活動について本日、亀井ガバナーのご指導を得られますことを大変うれしく思っております。これからもご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また本日ご出席の皆様方のますますのご健勝と、第 2630 地区の発展を祈念いたしまして、歓迎のあいさつとさせていただきます。

● ガバナー紹介 濃飛グループガバナー補佐

岡田 賛三 様

岡田と申します。どうぞよろしくお願ひします。

ガバナーのご紹介ということで、皆さんにガバナーを知っていただきたいと思っております。今年、古希を迎えられる、1954 年の 12 月 11 日のお生まれ。

現在、職業は亀井商事代表取締役、学歴は関西大学ということでございます。

ロータリークラブは 1995 年に名張ロータリーに入会され、幹事・会長を務められ、めでたく今年ガバナーになりました。

公職としては、三重県の石油商業組合の理事長、全国石油商業組合連合会の理事、そしてまた名張商工会議所の会頭を歴任されております。

どういうふうで紹介したらいいかということをごバナーに言いましたら、非常にちょっとびっくりしたんですが、私は小心者である、愛妻家である、関西人である、というようなことをぜひみんなに言ってほしいというようなことを言われました。まあ、こういうことが今かなり大事なのではないかなと思ったりもしておりますけれども、その中で非常に印象的だったのは、まあ愛妻家ということで、最後の食事に何を食べたいか？って聞かれたときに、なんだと思いますか？奥さんが作った味噌汁と白米を食べたいそんなふうにおっしゃっていました。

きっと皆さんもこの中の半分くらいはそうかもしれません、そうかと、大変感銘をいたした次第でございます。

大変パワフルで、張り切っておられますので、今日は小心者ではないガバナーの姿が見られるのではないかなと、そんなふうにも思います。

皆さん、ぜひガバナーのお話をしっかりと留め置いていただき、これからのロータリー活動を進めていただきたいと思っております。

ありがとうございます。



●ガバナー卓話 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー

亀井 喜久雄 様

ロータリーは 21 世紀に入る頃までは会員数は右肩上がりであり急激に増加してきました。1956 年には約 40 万人、66 年・76 年・86 年・96 年と 10 年ごとに 20 万人ずつ増え続け、1986 年には 100 万人を突破し、1996 年には 120 万人となりました。それから 28 年後の今も 120 万人です。日本も 96 年の約 13 万人がピークで現在 8.4 万人です。世界的にはドイツを除く先進国では減少、とりわけイングランドとオーストラリアが大幅減少。台湾・インド・韓国で増加傾向というのがいままでの経緯です。過去 5 年間 20% の地区が新クラブを一つも設立していません。入会した新会員のうち 10% 以上が入会后 1 年以内に退会しています。退会者の約半数がクラブでの所属年数がわずか 3 年未満です。これはよいことではありません。退会した会員はロータリーに対する否定的な見方をほかの人と共有しますからロータリーブランドにも害が及びます。

停滞の最大の原因は経済発展が先進国で止まり、その穴を発展途上国が埋めたことです。このままでは先進国のロータリアンの減少は尚一層進み、活動自体に支障をきたし、衰退への道は目に見えています。

これまでさまざまな会員増強策が試みられ、一部では成功していますが、全般にわたるものではありません。

私たちは新入会員入会にあたって、全員の同意を取ることが前提となっていませんか？これは「量より質」という考え方によるものですが、会員増強にとって自らブレーキを踏んでいるように見えます。私たちの中核的価値、すなわち「4つのテスト」に見合った人ならば、たった 1 人の反対で入会を拒否するのはどうでしょうか。再考をお願いします。

入会間もないメンバーが数多く退会するのはなぜでしょうか？それはその人にとって居心地が悪く、ロータリーの意義を感じ得ないからでしょう。そのような人には積極的にクラブの重要な役割を与えて、考えていただくのです。きっと意識の中の「何か」が変わるでしょう。良きロータリアンの道が開けると考えます。

決議 23-34 は日本のロータリーが最も大切に守ってきたものです。ただその中で、社会奉仕の功績を自分のものとせず、そのすべてを協力者の



手柄にするようにしなければならないと明記してあります。ロータリーの奥ゆかしい一面で、陰徳を積むという高潔な考えですが、その謙虚さが社会におけるロータリーの存在感を薄めていないでしょうか？社会奉仕の功績はもっと社会に広報してもいいのではないのでしょうか。それが社会的地位を高め、会員入会の動機付けになるものと考えます。

スティーブ・ジョブズはこう言いました。「アップル社再建の妙薬は費用を削減することではない。現在の苦境から抜け出す斬新な方法を編み出すことだ。優れた製品を提供し続ければ、顧客はいつでも財布を開いてくれると、私たちは信じていた」と。

革新の必要性は当時のアップルにあてはまり、同様に現在のロータリーにも当てはまります。

国際ロータリー事務総長ジョン・ヒューゴ氏と言います。「私たちの中核的価値、すなわち四つのテスト・奉仕と親睦・倫理と高潔さは決して変わることはできません。でも、それ以外はどうか？何事も可能です。どんなに頻繁に例会を開こうと、点鐘しようとして、歌を歌おうと、それがクラブを支え、クラブの存続と成長につながるなら、それでよいでしょう。しかし、そうでない場合は、そうした慣習をやめ、もっとよいものに置き換えてみてください」

この言葉を私たちは今一度かみしめる必要があるように思われます。どうか、前例にとらわれない新しい「在り方」を模索してください。

●地区大会 PR

地区代表幹事 的場 敏訓 様

地区大会の PR



●謝辞

高山中央ロータリークラブ

会長 堀口 裕之

3 クラブ会長を代表して一言お礼の言葉を述べさせていただきます。本日は高山 3 ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会にご参加いただき誠にありがとうございました。亀井ガバナー・的場地区代表幹事・浅津地区幹事におかれましては遠路よりお越しいた



だきまして誠にありがとうございます。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、その言葉の通り彼岸の中日を過ぎた今週は涼しくなり過ごしやすくなってまいりました。この良き季節に本日高山にて亀井ガバナーにお会いして、さらに来週末地区大会で再びお会いできることを大変うれしく思います。

さあ皆さん、良い季節となりました。ロータリー活動に邁進いたしましょう。本日は誠にありがとうございました。



< ニコニコ BOX >

本日は高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会宜しくお願ひ致します。

国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー 亀井 喜久雄 様
地区代表幹事 的場 敏訓 様
地区幹事 浅津 英明 様

本日は宜しくお願ひ致します。

濃飛グループガバナー補佐 岡田 賛三 様

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー 亀井喜久雄様、地区代表幹事 的場敏訓様、地区幹事 浅津英明様のご来訪を歓迎いたします。

本日はご指導宜しくお願ひ致します。

また、濃飛グループガバナー補佐 岡田賛三様、パストガバナーならびに地区委員会委員の皆さまご出席ありがとうございます。

高山 RC 会長 長岡 俊輔 様
高山西 RC 会長 米澤 久二 様
高山中央 RC 会長 堀口 裕之

